

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年12月26日 (2013.12.26)

【公表番号】特表2013-510841(P2013-510841A)
 【公表日】平成25年3月28日 (2013.3.28)
 【年通号数】公開・登録公報2013-015
 【出願番号】特願2012-538415(P2012-538415)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/522 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 11/14 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/485 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/522
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 11/14
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 A 6 1 K 31/485

【手続補正書】
 【提出日】平成25年11月11日 (2013.11.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

咳嗽の治療における組み合わせ調製物として、テオプロミンおよび非オピエート鎮咳剤からなる薬剤。

【請求項 2】

非オピエート鎮咳剤が、N-メチル-D-アスパラギン酸受容体拮抗剤である、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 3】

非オピエート鎮咳剤が、デキストロメトルファン、イソアミニル、ベンゾネート、ジペプロール、モルクロホン、ブレノクスジアジン、ドロプロビジン、ピペリジオン、ペントキシベリン、オキシラミン、オキセラジン、ネピナロン、メプロチキソール、インダントール、ジメモルファン、ジブナート、クロペラスチン、クロフェダノール、ブタミラート、ビベンゾニウム、ベンプロペリン、またはフェドリレートである、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 4】

非オピエート鎮咳剤が、デキストロメトルファンである、請求項 1 または 2 に記載の薬剤。

【請求項 5】

非オピエート鎮咳剤が、0.1 mg/kg/日～30 mg/kg/日の投与量である、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 6】

デキストロメトルファンが、0.1 mg/kg/日～6 mg/kg/日の投与量である

、請求項 4 に記載の薬剤。

【請求項 7】

経口投与用に製造される、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 8】

錠剤、カプセル剤、トローチ剤、ロゼンジ剤、散剤、顆粒剤、懸濁剤、シロップ剤、または乳剤として調製される、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の薬剤。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の薬剤を含む医薬組成物。

【請求項 10】

1 つ以上の賦形剤、および任意に、甘味剤、矯味剤、着色剤、および / または保存剤のうちの 1 つ以上をさらに含む、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

経口投与用に製造される、請求項 9 または 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

錠剤、カプセル剤、トローチ剤、ロゼンジ剤、散剤、顆粒剤、懸濁剤、シロップ剤、または乳剤として調製される、請求項 9 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

咳嗽の治療のための医薬品の製造における、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の薬剤または請求項 9 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物の使用。

【請求項 14】

咳嗽の治療のための医薬品の製造における、非オピエート鎮咳剤と組み合わせたテオブロミンの使用。

【請求項 15】

非オピエート鎮咳剤が、N-メチル-D-アスパラギン酸受容体拮抗剤である、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 16】

非オピエート鎮咳剤が、デキストロメトルファン、イソアミニル、ベンゾネート、ジペプロール、モルクロホン、プレノクスジアジン、ドロプロピジン、ピペリジオン、ペントキシベリン、オキシラミン、オキシセラジン、ネピナロン、メプロチキソール、インダントール、ジメモルファン、ジブナート、クロペラスチン、クロフェダノール、ブタミラート、ビベンゾニウム、ベンプロベリン、および / またはフェドリレートである、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 17】

非オピエート鎮咳剤が、デキストロメトルファンである、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 18】

非オピエート鎮咳剤が、 $0.1 \text{ mg/kg/day} \sim 30 \text{ mg/kg/day}$ の投与量である、請求項 14 ～ 16 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 19】

デキストロメトルファンが、 $0.1 \text{ mg/kg/day} \sim 6 \text{ mg/kg/day}$ の投与量である、請求項 17 に記載の使用。

【請求項 20】

医薬品が経口投与用に製造される、請求項 14 ～ 19 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 21】

医薬品が、錠剤、カプセル剤、トローチ剤、ロゼンジ剤、散剤、顆粒剤、懸濁剤、シロップ剤、または乳剤として調製される、請求項 14 ～ 20 のいずれか 1 項に記載の使用。